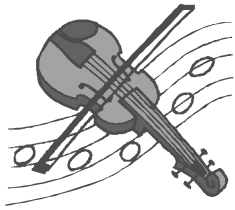




# 10月10日、クレメンティア



## 第2回演奏会は 間近とないました！



10月4日、5日、8日、9日の4日間のリハーサルで本番に臨みます。皆と打ち合わせで連絡をとりあっていると、緊張感が互いに伝わってきます。今ここで、私の感想を交えながら演奏者達の紹介をさせていただきます。

### 加藤えりな さん（ヴァイオリン）

東京芸大在学中にパリ国立高等音楽院に入学、ヴァイオリン、室内楽でブルミエ プリを得て卒業。  
2004年7月帰国するまでの間に、数々のコンクールで入賞、ロン=ティボー国際コンクールでセミ ファイナリスト、という方です。  
今年の始めに、室内楽で協演した時に惚れ込み、クレメンティアに入ってもらいました。

### 佐々木絵理子 さん（ヴァイオリン）

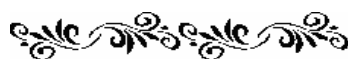
東京芸大、同大学院修了後、英国王立音楽院に入学。多くの賞を得て卒業、ヨーロッパ・アメリカ等での華々しい活動を経て2005年9月28日帰国。  
つまりこの会報の出る数日前に帰国ということとなります。前述の加藤えりなさんとは芸大附属高校時代の同級生で、私はまだお会いしていないのですが、加藤さんの折り紙つき・・・楽しみです。

### 安藤裕子 さん（ヴィオラ）

東京芸大、同大学院修了。第3回日本室内楽コンクール第1位、第17回ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクール第2位、第52回ジュネーブ国際コンクール・セミファイナリスト。現在、東京芸大オケ首席ヴィオラ奏者。  
丸いヴィブラートが感動的な、素晴らしい音の持ち主です。

### 中山良夫 さん（ヴィオラ）

東京大学文学部を卒業後、東京芸大も卒業、という異才です。現在、東京都交響楽団の団員で、私とは永いつき合いです。  
リサイタルシリーズ「ヴィオラの世界」を毎年開催するエネルギーと意欲には敬服の他ありません。  
クラシック音楽の生き字引のような豊富な知識で、クレメンティアの企画をするときにいつも助けて貰っています。



## 松本ゆり子 さん (チェロ)

東京芸大、同大学院(室内楽専攻)修了。1989~1992年までアポロン絃楽四重奏団のメンバー。  
現在、フリーのチェロ奏者として、ソロ、室内楽、録音、オーケストラの客演首席奏者等、幅広く活動中。  
あたたかな音で、アンサンブルの名手。私も、この頃は室内楽をする時、つい「松本さん、頼める?」となってしまいます。

## 田中洪至(ひろし) さん (コントラバス)

東京芸大卒業、東フィル首席コントラバス奏者を経て、1974年ウィーンへ留学。オーストリア国営放送管絃楽団、ウィーン室内オペラ座オーケストラを経て、1981年帰国。現在、「東京カンマーコレゲン」代表。  
ウィーン仕込みのやわらかなよく響く音、そして音程の良さは驚き! 今回のコンサートでは、きっと印象に残る音を聴かせてくれる筈です。

## 平野智美 さん (チェンバロ)

東京芸大、同大学院修了。1999年 第13回古楽コンクール チェンバロ部門最高位受賞。2002年 文化庁派遣芸術家在外研修員として渡欧。平成16年度文化庁新進芸術家公演事業「ニューアーティストシリーズ2005」に出演。  
私が最も数多く共演した演奏家といえるかも知れません。最近、自らリサイタルを企画し、良いバロック音楽を演出しています。

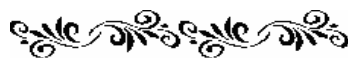
## 田村仁良(よしふみ) さん (テオルボ)

リュート奏者としての研鑽を積み、2000年にソロリサイタル、2002年には読売日本交響楽団と共演。  
ルネッサンス・バロック期の様々な撥弦楽器を研究、ソリストとしてまた通奏低音奏者として活躍、「ヘルメスの風」コンサートシリーズを主宰。  
テオルボやリュートの音は、きっと古い時代の静けさを感じさせてくれるのではないか、そこから「喧騒の今」の反省点を見出せないだろうか、そんな思いで加わって貰いました。当日は楽器紹介もお願いしてあります。

## 湯川和雄 (フルート)

はい、私です。私も東京芸大、同大学院を修了、大学院在学中に東京都響の首席フルート奏者となりました。  
35年間勤め、その間5年間は芸大の室内楽科講師もいたしました。今はクラシック音楽の中で最も美しい古典を出来るだけ多くの方々にお伝えしたく、室内合奏団クレメンティアでハッスルしています。  
ところで、今回の曲目のうち、私の演奏するヴィヴァルディの協奏曲の一部は鳥の博物館のコンサートで、シュターミツの協奏曲の一部はアピスタのロビーコンサートで演奏した曲です。  
なんだか聴いたことがあるような無いような、と思う方も居られるかも知れません。

団長 湯川和雄



### 事務局より

第2回コンサートの会員チケットはご予約済みでしょうか?

7月の会報と一緒に会員の皆様にお届けした「チケット申し込みハガキ」でチケットのご予約を承っていましたが、ハガキを紛失された方が居られましたら、10月9日(コンサートの前日)までに電話、Faxでご遠慮なくお申し込み下さい。  
なおコンサート当日は、当日券のみの扱いとなりますのでご了承ください。  
TEL、Faxは下記へお願い致します。

室内合奏団クレメンティア友の会

TEL/Fax 共 04-7187-0960 (山中)

